

**タケシールC7M-NA工法 平場部**

工 程	使 用 材 料	使 用 量	方 法	作 業 間 隔
下地処理			下地を洗浄し、十分に乾燥 必要に応じ、ガホンワイヤーにて下地調整	
プライマー塗布 (接着剤塗布)	タケシールE-500 <sup>o</sup> プライマー	0.3kg/m <sup>2</sup>	タケシールE-500 <sup>o</sup> プライマーのA液とB液を1:4 の重量比で混合した塗布液をローラー・ 刷毛で塗布	2時間以上 4時間以内
通気緩衝シート 貼り	通気シートEMT-0308AL	1.0~1.1 m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup>	シワがよらないように通気シートEMT-0308AL を貼り付け	直ちに
脱気筒設置	ダモステンレス脱気筒	1箇所/ 30~50m <sup>2</sup>	所定の場所にダモステンレス脱気筒を設置	直ちに
ウレタン防水材 塗布1回目 (目止め)	タケシール1液NEO たれ止めM	1.0kg/m <sup>2</sup>	タケシール1液NEOにたれ止めMを 混合した塗布液をコテ・ヘラ等で塗布	24時間以上 3日以内
ウレタン防水材 塗布2回目	タケシール1液NEO	1.6kg/m <sup>2</sup>	タケシール1液NEOをコテ、ヘラ、ローラー、刷毛 等で塗布	24時間以上 3日以内
ウレタン防水材 塗布3回目	タケシール1液NEO	1.6kg/m <sup>2</sup>	タケシール1液NEOをコテ、ヘラ、ローラー、刷毛 等で塗布	24時間以上 3日以内
トップコート塗布	タケシールSSトップ	0.12~0.15 kg/m <sup>2</sup>	タケシールSSトップ <sup>o</sup> のA液とB液を1:10 の重量比で混合した塗布液をローラー・ 刷毛等で塗布	養生時間 24時間以上
設 計 膜 厚		3.0mm		

※作業間隔は気温20℃晴天時の場合のもの

※タケシールE-500プライマーに替えて、タケシールNo. 400プライマー或いはタケシールAE-211プライマーを使用してもよい

※タケシール1液NEOに対するたれ止めM添加量の目安は下表の通り

季節	たれ止めM添加量	18kg 缶の場合	10kg 缶の場合
夏期	5%	900g	500g
冬期	3%	540g	300g

**立上り部**

立上り部は **タケシール**

